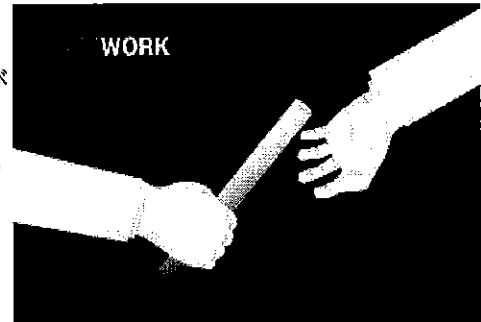


## バトンタッチ

12日の生徒会役員引継ぎ式において、新専門委員長及び書記の任命が行われました。会長、副会長、専門委員長は2年生ですが、それをバックアップする書記には1年生から、以下の2人が任命されました。

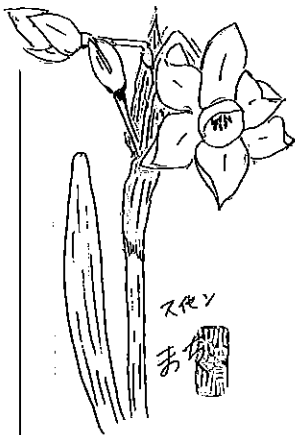
**書記：山田 羅央(1-1)、森 真理(1-2)**

また、旧会長：山田小次郎君と新会長：立石すみれさんが立派なあいさつをしてくれましたので紹介します。



(山田君のあいさつ) 「正進」というスローガンを掲げて進んできたこの1年は、本当にあっという間でした。今、生徒会長という大きな役目を終えて、とてもほっとしています。不安から始まった生徒会役員としての活動は決して楽なものではなく、つまづくことも多々あり、そして学ぶこともたくさんありました。この1年間たくさんの行事をはじめ、色々なことが成功できたことは紛れもなく皆さんのお陰です。(中略) 僕自身、生徒会長としてこの1年間は、いろいろなことを学び、たくさん成長することができました。様々な企画や運営をする際、役員の中なかでも言い合いになったり、たくさん失敗することもありました。しかし、それを乗り越えることで、私達は一步ずつ成長することができました。(中略) これからは新生徒会のもと、新しい加津佐中学校が始まります。1・2年生の皆さん、これから加中を担うのは君たちです。きっと皆さんなら、よりよい加津佐中学校を創り上げると思います。今までの加中の伝統をしっかり受け継いで、守り抜いてください。最後になりましたが、陰ながら支えてくださった先生方、頼りになる執行部のみんな、そして、今まで協力してくださった生徒の皆さんには感謝しかありません。1年間ありがとうございました。

(立石さんのあいさつ) このたび、生徒会長に就任しました立石すみれです。私が掲げた公約は「一人ひとりが穏やかな心で意見を出し合い、認め合い、手をつないでいける学校にする」ことです。私が思う生徒会は、率先して意見を出すことはもちろんですが、皆が意見を出し合えるような雰囲気をつくっていくことが重要だと考えます。生徒会に求められるのは、全体を見渡せる広い視野と、冷静な判断を出すことができる力です。生徒会みんなで一丸となって加津佐中学校を盛り上げていくためには、生徒会だけでなく皆さん一人ひとりの力が必要です。人は一人ひとり違う個性を持っています。時にその違いでいじめや差別に発展してしまうことがあります。一人ひとりが違う個性を持っているからこそ足りない部分を補い合えるのだと思います。そんな一人ひとりがお互いの良さを認め合い、足りない部分を補い合い、手をつないでいけるような加津佐中学校を一緒につくっていきましょう。



**受験シーズン到来、いよいよ私立の特別入試等が始まりました。頑張れ受験生！！**